

平成24年 関西広域連合 第2回 EV・PHV写真コンテスト ～あなたの街のEV・PHVが似合う風景～

【募集期間】 平成24年8月6日(月)～10月31日(水)

【応募作品数】 70点

【主催】 関西広域連合広域環境保全局

【後援】 公益社団法人日本広告写真家協会

【協賛】 トヨタ自動車(株)・日産自動車(株)・三菱自動車工業(株)

入賞・入選作品一覧

賞名	氏名	作品名	撮影場所
最優秀賞	南丹市(なんたんし)	実りの秋、ちょっとお出かけ	京都府南丹市 美山町かやぶきの里
優秀賞 (2点)	佐伯 範夫(さえき のりお)	秋を感じて	鳥取県大山町
	西 啓卓(にし ひろたか)	究極のエコ	鳥取県大山町 大山ウインドファーム
入選 (6点)	秋田 健介(あきた けんすけ)	自然に溶け込む車	兵庫県神戸市
	神保 美香(じんぼ みか)	トロの道とEV	和歌山県串本町 潮岬
	厨子 勝義(ずし かつよし)	水の国の空気は汚さない	滋賀県高島市 白髭神社
	廣嶋 壽久(ひろしま としひさ)	時を越えて	京都府舞鶴市 舞鶴市役所
	松満 芳典(まつま よしのり)	檜原の棚田	徳島県上勝町 檜原
	八木 正博(やぎ まさひろ)	ふる里の自然とともに	京都府南丹市 八木町神吉
トヨタプリウス PHV賞	居原田 晃嘉(いはらだ てるよし)	調和	京都府京都市 建仁寺辺り
日産LEAF賞	中池 日笑(なかいけ にっしょう)	地元でも、旅先でも	京都府京都市 八坂の塔近く
三菱MiEV賞	宮井株式会社(みやいかぶしがいいしゃ)	広沢の池と唐草号	京都府京都市 嵯峨野広沢の池

最優秀賞

南丹市

「実りの秋、ちょっとお出かけ」
(京都府南丹市 美山町かやぶきの里)



優秀賞

佐伯 範夫
「秋を感じて」
(鳥取県大山町)



優秀賞

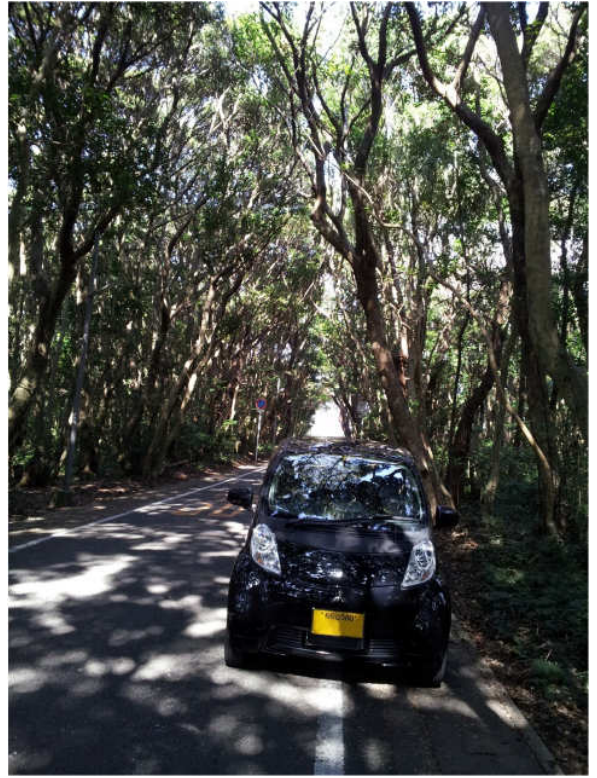
西 啓卓
「究極のエコ」
(鳥取県大山町 大山ウインドファーム)





入 選

秋田 健介
「自然に溶け込む車」
(兵庫県神戸市)



入 選

神保 美香
「トトロの道とEV」
(和歌山県串本町 潮岬)



入 選

厨子 勝義
「水の国の空気は汚さない」
(滋賀県高島市 白髭神社)

入 選

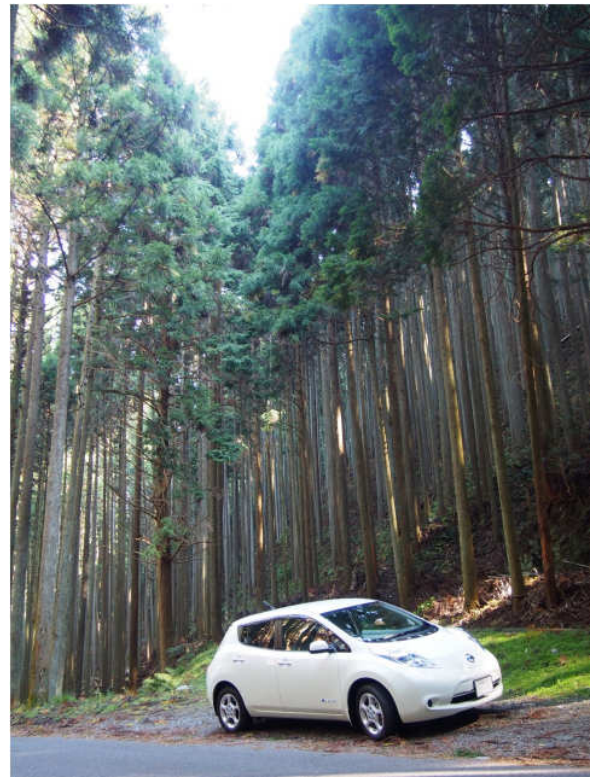
廣嶋 壽久
「時を越えて」
(京都府舞鶴市 舞鶴市役所)





入 選

松満 芳典
「榎原の棚田」
(徳島県上勝町 榎原)



入 選

八木 正博
「ふる里の自然とともに」
(京都府南丹市 八木町神吉)



トヨタプリウスPHV賞

居原田 晃嘉
「調和」
(京都府京都市 建仁寺辺り)



日産LEAF賞

中池 日笑

「地元でも、旅先でも」
(京都府京都市 八坂の塔近く)



三菱MiEV賞

宮井株式会社

「広沢の池と唐草号」
(京都府京都市 嵯峨野広沢の池)

入賞・入選作品 講評

選考委員長 友田 富造 (公益財団法人日本広告写真家協会 副会長)
選考員 堺 雄二 (公益財団法人日本広告写真家協会) 他選考委員3名

総 評

第二回目のフォトコンテストの選考は前回を上回る70点の作品が集まり、5人の選考員で厳正なる選考を行いました。前回同様、選考のポイントには、EV・PHV車が街並や自然の風景の中にいかに溶け込んでいるかを選考のポイントに置きました。

応募作品全体の評価は、前回より応募点数が多くなったせいかテーマに合った作品が多数見られ、参加者の意識がエコカーに向いていることをより感じました。今回も選考員を最後まで悩ませましたが、最終的に最優秀賞1点、優秀賞2点、入選6点、協賛企業賞3点を決定致しました。

選外の作品の中にも素晴らしい作品が多数観られました。人物の写った写真や疾走するシーンの作品に出会いたいですね。次回も今回を上回る多くの応募作品に出会える事を楽しみにしております。

最優秀賞：『実りの秋、ちょっとお出かけ』(南丹市)

- ◆ 最優秀賞の作品は、「実りの秋、ちょっとお出かけ」のテーマ通り、かやぶきの集落をバックに、そばの花を前ぼけに使い、EV車の配置も赤いポストがワンポイントになり、自然の風景の中にうまく溶け込んだ作品に仕上がりが、構図的にも完成された素晴らしい作品です。
- ◆ 美山のこのロケーションは、多くの写真家が撮影していますが、このショットは歴史ある茅葺の家並みを背景にうまく取り入れ、車を点景に配置したレンズ選択orズーム感覚が良いです。

優秀賞：『秋を感じて』(佐伯 範夫)

- ◆ 「秋を感じて」のテーマに合った優秀賞の作品は、コスモス畑を対角線の構図に撮影し、EV車を大きく迫力ある位置に置き、背景がのどかな農道が広がり静かな秋を感じるほっとする作品です。
- ◆ コスモスのお花畑がいたるところにある中でシンプルな画面構成で仕上げている良いです。一度行ってみたいくなりました。

優秀賞：『究極のエコ』(西 啓卓)

- ◆ 「究極のエコ」のテーマに合った優秀賞の作品は、カーブする海岸線に白のEV車と背景にある青い空、海、白い風車等すべての条件がマッチして構図的にも三分割法を使った空気感を感じる作品です。
- ◆ 風車が見える海岸に車を配置し、海辺の美しさを取り入れたうまさがあります。

入 選：『自然に溶け込む車』(秋田 健介)

- ◆ EV車のアングルが大胆で、作者の意図を強く感じます。ライティングもよく雨上がりの虹がポイントになり、自然の空気感を感じる作品に仕上がっています。
- ◆ 穏やかな気持ちになります。次回にはアングル、車の配置もいろいろ試してください。

入 選：『トトロの道とEV車』(神保 美香)

- ◆ 和歌山県潮岬にあるトトロの道とEV車に映る森の反射や木漏れ日が、自然のほっとした瞬間を感じます。駐車禁止の看板が無ければもっと完成された作品に仕上がったと思います。
- ◆ 車の前の顔がもう少しはっきりでいたらもっとよくなると思います。車ごとトトロの世界に入りこめるなんていいですね、一度行ってみたいです。

入 選：『水の国の空気は汚さない』(厨子 勝義)

- ◆ 滋賀県高島町の白髭神社の鳥居とEV車を、琵琶湖を大切にしたいとの思いで撮影された作品ですが、青空時であればもっと良い作品に仕上がったと思います。
- ◆ 白髭神社の鳥居とのバランスがいいです。にがり気味の色合いが何かを感じさせます。

入 選：『時を越えて』(廣嶋 壽久)

- ◆ 舞鶴市の赤れんが倉庫をバックにEV車の位置も画面の端に置き、街灯がワンポイントになり空間を上手く使った作品に仕上がっています。
- ◆ 赤レンガ、街灯を背景にシンプルな画面構成良いですね。大きいサイズの写真プリントであればもっと映えるでしょう。次回の応募を期待します。

入 選：『椋原の棚田』(松満 芳典)

- ◆ 徳島県の椋原の棚田とEV車が自然に溶け込んでいますが、もう少しタイヤ全体が写っていれば、もっと完成度の高い作品に仕上がったと思います。
- ◆ ハイアングルで棚田をうまく取り入れたのは良いですね、車全体を入れての画面構成をしていけばよりよくなったと思います。

入 選：『ふる里の自然とともに』(八木 正博)

- ◆ 杉木立の中に自然に溶け込むEV車がテーマそのものです。カメラアングルも縦位置にする事で、高さ表現と空間を上手くまとめた作品に仕上がっています。
- ◆ 山間に馴染んだ良いショットです。車と背景との強弱を少し意識してシャッターを押してください。

トヨタプリウスPHV賞：『調和』(居原田 晃嘉)

- ◆ 「調和」のテーマ通り、建仁寺辺りの土壁とPHV車が静寂の中に自然に溶け込んでおり、前面の空間を開けた大胆な構図は動感を感じさせる迫力ある作品です。
- ◆ 即興で車と土塀のショットを収めた感性は素晴らしいです。機会がありましたら是非、次回の応募を期待します。

日産LEAF賞：『地元でも、旅先でも』(中池 日笑)

- ◆ 「地元でも、旅先でも」のテーマ通り、京都東山の街並と八坂の塔とEV車が、地元の人々や観光客に違和感なく溶け込み、フレーミングも完成された良い作品です。
- ◆ よく撮られているこのロケーションですが、作者の人々に与える環境への配慮が縦位置の堂々とした画面に表れています。良いですね。

三菱MiEV賞：『広沢の池と唐草号』(宮井株式会社)

- ◆ 「広沢の池と唐草号」のテーマ通り、EV車に描かれた唐草プラグが、広沢の池の静けさと夕方のサイドライティングにより、強調されたコントラストのある作品です。
- ◆ 京都の広沢の池の何気ない風景の中にうまく車を取り入れ、素朴な自然との馴染みが良いですね。貴社ではすべてEV車なのでしょうか？ 次回は他の皆さんも呼びかけていただき、ご応募ください。